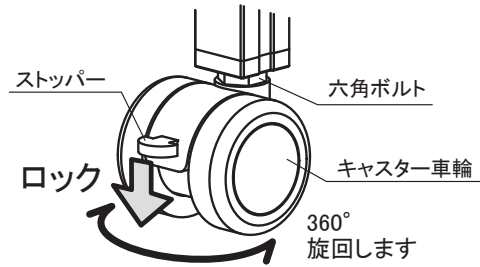


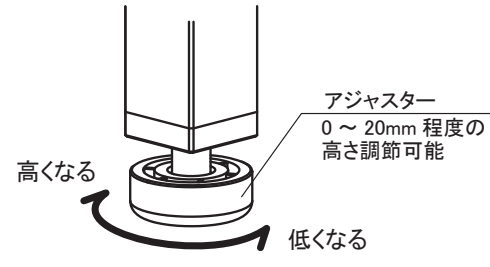
キャスターについて

本製品のキャスターはロック機能がついています。ストッパーを下方に下げることによって車輪がロックされ、上方に上げることで解除されます。車輪をロックした状態でもキャスター自体は旋回します。定期的に六角ボルトのゆるみを確認してください。



アジャスターについて

本製品のアジャスターは0～20mm程度の範囲で高さ調節が可能です。床面に多少の凹凸がある場合などガタツキをなくしたいときに調節してください。アジャスターを下図の様に回す事で調節ができます。



耐荷重量について

製品の耐荷重量はそれぞれ下記の通りです。それを超える負荷は絶対にかけないでください。製品の破損や変形による収納物の落下などによるケガの恐れがあります。

【シェルフ】 シェルフにおける製品全体での耐荷重量は約200kgです。棚板1段あたりの耐荷重量は棚板の奥行寸法や製品幅の長さに応じて変わります。(下表をご参照ください)

棚板1段あたりの耐荷重量	製品幅 (200～999mm)	製品幅 (1000～1399mm)	製品幅 (1400～1800mm)
棚板奥行 (D180タイプ)	約100kg	約70kg	約60kg
棚板奥行 (D360タイプ)	約100kg	約80kg	約70kg
棚板奥行 (D540タイプ)	約100kg	約80kg	約70kg

【ハンガー】 ハンガーにおける製品全体での耐荷重量は約100kgです。フレーム1本あたりの耐荷重量は製品幅の長さに応じて変わります。(下表をご参照ください)

	製品幅 (200～999mm)	製品幅 (1000～1399mm)	製品幅 (1400～1800mm)
フレーム1本あたりの耐荷重量	約80kg	約60kg	約50kg

【ハンガー (フレーム補強金具仕様)】 「フレーム補強金具」を取付けることでフレーム1本あたりの耐荷重量が変わります。(下表をご参照ください)

	製品幅 (200～999mm)	製品幅 (1000～1399mm)	製品幅 (1400～1800mm)
フレーム1本あたりの耐荷重量	約100kg	約80kg	約70kg

お手入れについて

お手入れに際しては、台所用中性洗剤を薄めた液に浸した布で拭き、その後固く絞った布で水拭きしてください。最後に乾いた布で水分を残さないように拭き取ってください。ベンジン、シンナー等で拭かないでください。製品の変形、変色の原因となります。

保管について

製品の保管については、直射日光が直接あたる場所や高温多湿な場所はさけてください。製品の変色や製品の急速な劣化の原因となります。また、異種金属(鋼、銅等)に接触させた状態での保管もさけてください。サビの発生の原因となる場合があります。

品質表示

■使用材料

ベース支柱: アルミニウム合金(アルマイト処理)
 フラットプレート: アルミニウム合金(アルマイト処理)
 フラットフレーム: アルミニウム合金(アルマイト処理)
 樹脂パーツ全般: ポリカーボネート樹脂(耐熱温度100℃)
 キャスター: ナイロン樹脂(耐熱温度100℃)
 アジャスター: エラストマー樹脂(耐熱温度100℃)

株式会社 シンドー

〒959-1288 新潟県燕市燕5525-1

<日本製>

お問合せ先

この度は、Mr.Alumanをお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品についての不都合な点がありましたら下記までお問合せください。

製造販売元  株式会社 シンドー

HP-URL <http://www.shindo1947.com>
 フリーダイヤル 0120-995-277

お問合せ時間/平日10:00～17:00(12:00～13:00を除く)

【20150525/0】 ロットNo.【 】

MA ミスター
アルマン
alu man

Only One Made「Mr.Aluman」取扱説明書(全種共通)

produce by Shindo Co.,Ltd

※製品の組立に際しては必要に応じ下記の用具をご準備ください。



保護手袋



プラスドライバー



プラスチックハンマー
ゴムハンマー

お買い上げいただいたお客様へ

この度はOnly One Made「Mr.Aluman」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは大切に保管していただき不具合が生じたときにお役立てください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への被害を未然に防止するためにいろいろな表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

1) 製品を使用する際は滑りやすい場所や不安定な場所はさけ、製品が安定した状態であることを確認してからお使いください。土面や砂利、砂地面、傾斜のある坂面、凹凸の著しい地面等でのご使用はさけてください。製品が転倒し大ケガをまねく恐れがあります。



2) 製品に飛び乗ったり、ぶら下がったり、足をかけたりしないでください。製品の転倒や破損の原因となり大ケガをまねく恐れがあります。



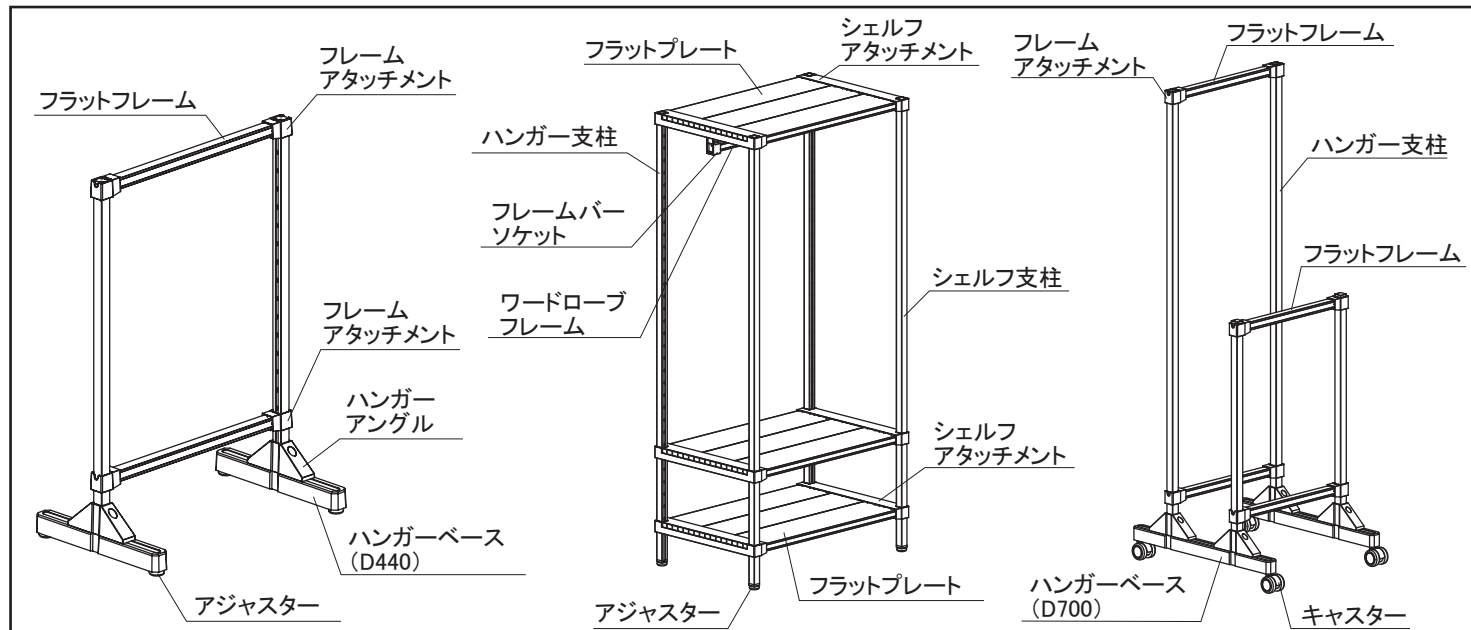
3) 製品を火気の近くで使用しないでください。金属部が熱くなり火傷の原因となったり、樹脂部の発火による火災の恐れがあります。また、製品の破損や変形、変色の原因となります。



注意

- 1) 製品に衝撃的荷重をかけないでください。製品の破損や変形の原因となります。
- 2) 製品を分解したり、改造したりしないでください。予期せぬケガをまねく恐れがあります。
- 3) 使用前、製品にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。製品に破損等、異常がある場合は使用しないでください。予期せぬケガをまねく恐れがあります。
- 4) 製品を持ち運ぶ際は、投げたり乱暴に扱わないでください。製品の破損や変形の原因となります。
- 5) 二つ以上の製品の間を板を渡したりして使用しないでください。予期せぬケガをまねく恐れがあります。
- 6) 定期的にネジ類の緩み等の点検を行ってください。
- 7) 釘やカッターなど鋭利な金属で製品にキズをつけたりしないでください。キズついた部分よりサビが発生し製品劣化の原因となります。
- 8) 製品を組み立てる際はしっかりと連結がされているか確認してください。しっかりと連結されていないと予期せぬ事故をまねく恐れがあります。
- 9) 製品に油を塗布しないでください。製品の劣化の原因となります。

各部の名称

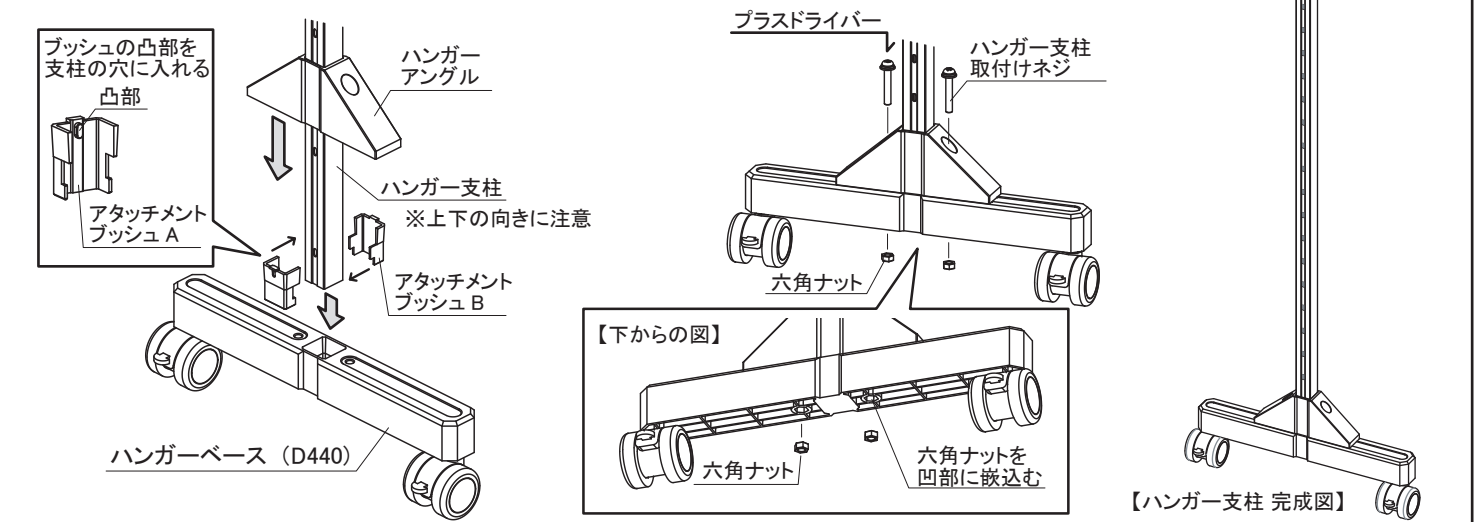


「ハンガー支柱」の組立方法

シングルハンガーとダブルハンガーは同様の手順で組み立ててください。

※組立に際してはプラスドライバーと安全のために保護手袋をご用意ください。

アタッチメントブッシュAとアタッチメントブッシュBを下図の様にハンガー支柱を挟み込むように最下部の穴に嵌め込み固定します。次にハンガー支柱をハンガーベースに差し込みハンガーアングルを下図の様にハンガー支柱に通しハンガーベースの上におきます。最後に付属のハンガー支柱取付けネジと六角ナットで下図のようにハンガーアングルを挟み込むように取付け、プラスドライバーで回し込み固定します。



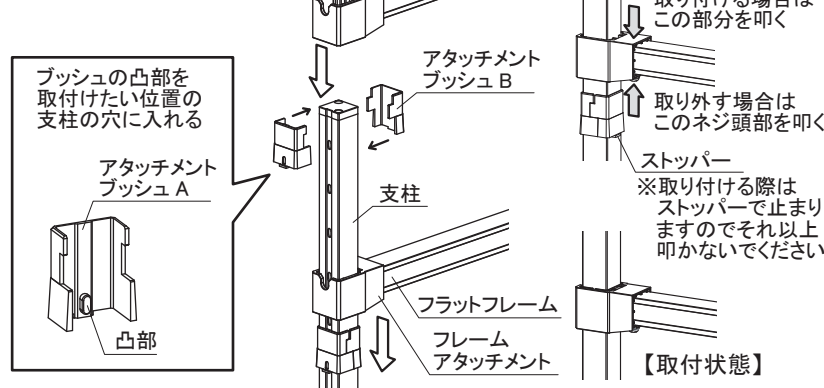
シェルフ・フレームの組立方法

シェルフとフレームは同様の手順で組み立ててください。

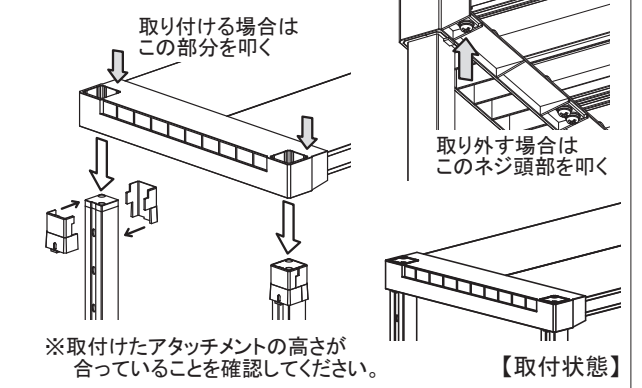
※組立に際してはプラスチックハンマーやゴムハンマーと安全のために保護手袋をご用意ください。

フレームやシェルフの取り付けたい位置を決め、アタッチメントブッシュAとアタッチメントブッシュBを下図の様に支柱を挟み込むように支柱の穴に嵌め込み取付けます。次にフレームやシェルフを下図の様に支柱に通しプラスチックハンマー等で軽く叩き入れ固定します。取付け位置を変えたい場合等はプラスチックハンマーなどでフレームやシェルフを下方から叩き、取り外した後にアタッチメントブッシュの取付け位置を変えてください。

【フレームの場合】

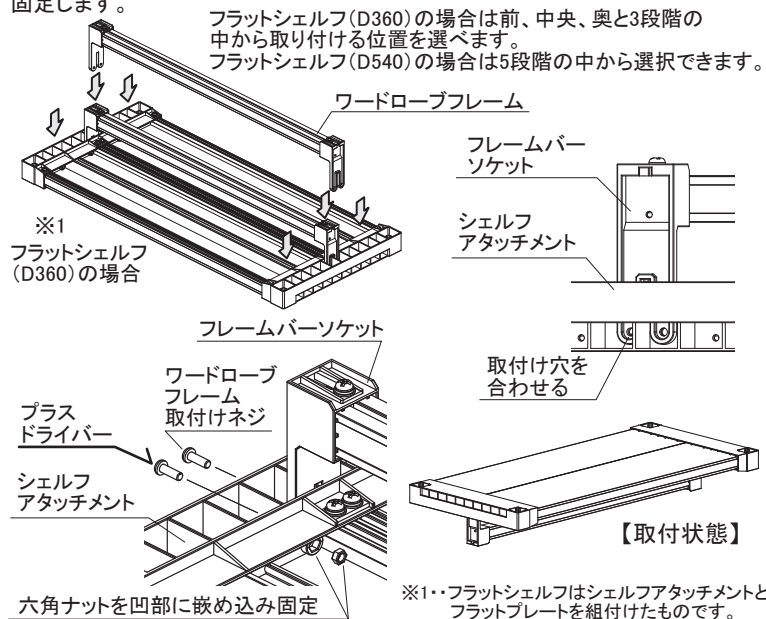


【シェルフの場合】



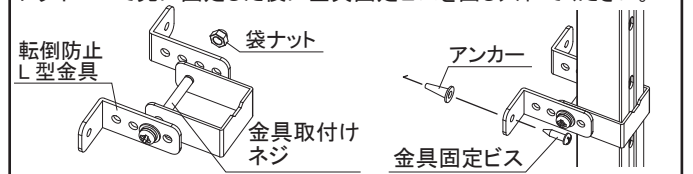
「ワードローブフレーム」の取付方法

フラットシェルフを裏面にしワードローブフレームの取り付け位置を決めます。シェルフアタッチメントとフレームパーソケットの穴を合わせワードローブフレーム取付けネジを通し、六角ナットを下図の様に嵌め込みプラスドライバーで回して固定します。



「転倒防止金具」の取付方法

シェルフ支柱と壁などの取付け場所の距離に合わせて転倒防止L型金具の穴位置を調節し、図の様にシェルフ支柱を通し金具を付属の金具取付けネジと袋ナットで取付けます。次に図の様に金具固定ビスを壁などの取り付け場所にプラスドライバーで固定します。石膏ボードなどに固定する場合は必要に応じてアンカーをプラスドライバーで先に固定した後に金具固定ビスを回し入れてください。



「フレーム補強金具」の取付方法

フレーム補強金具はフレーム同士の間隔が100mmの場合にのみ使用でき、下方のフレームの耐荷重を増す事ができます。下図の様に補強金具をフレームに通し付属の金具固定ネジと袋ナットで取付けてください。

